# Futtsu 議会だより

No.219
令和8年11月12日
Fall 2026
発行／千葉県富津市議会
編集／千葉県富津市議会 広報委員会
〒293-8506 千葉県富津市下飯野2443
Tel.0439-80-1331 Fax.0439-32-1361
https://www.futtsu-gikai.jp/



大規模災害に備えた富津市議会災害時BCPに基づき、模擬常任委員会のオンライン会議を令和８年９月16日に実施しました。



「黄金に輝く富士」
写真提供：大堀・對馬 治 さん

## 富津絶景 62

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。皆様のご応募をお待ちしております。（上記編集先まで）

決算審査特別委員会報告……２～３Ｐ
代表質問……４～６Ｐ
個人質問……７～９Ｐ
９月定例会……10Ｐ
議決結果……11Ｐ
トピックス・定例会日程……12Ｐ

質疑・答弁・討論の詳細は紙面の都合でわずかしか掲載できませんので、11/25（水）以降に公開される、市役所１階の「行政資料コーナーの会議録」や「議会ホームページ」で詳細をご覧ください。

## ◆決算審査特別委員会

**令和７年度決算審査特別委員会（８人）において９月15日から２日間にわたり、一般会計歳入歳出および特別会計歳入歳出について、決算書・主要施策の成果説明書を用いて質疑を行いました。**

**まず、委員会審査前、第２期君津地域広域廃棄物処理施設整備事業、保育所ＩＣＴシステム等利用料の現地調査を行いました。**

**その後、委員会審査において、今後の行政運営にどのような改善がなされるべきか、さまざまな観点から検証を行い、事業評価と次年度予算等へどう反映されるか等を審査しましたので、主な質疑を報告します。**



第２期君津地域広域廃棄物処理施設を視察する様子

### ◆一般会計歳入歳出決算

#### 《歳入について》

・市税増収の主な要因
・土地建物貸付収入のうち駅前の駐車場の収入額および稼働率




飯野保育所を視察する様子

#### 《歳出について》

**●総務費**

・ふるさとふっつ応援寄附金額増額の要因
・市内交通事業者における女性ドライバーの採用人数
・空き家バンク事業の登録および成約の実績
・地域公共交通会議の10年間の成果
・広報ふっつ新聞折り込み委託料前年比減の理由

### ▼各会計別決算額

| 会計名 | | 予算現額 | 歳入総額 | 歳出総額 | 差引額 |
|---|---|---|---|---|---|
| 一般会計 | | 244億6,309万9千円 | 236億8,287万3千円 | 225億9,362万3千円 | 10億8,925万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険事業特別会計 | 53億2,782万1千円 | 46億4,876万9千円 | 46億2,506万7千円 | 2,370万2千円 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | 8億6,001万2千円 | 8億4,602万8千円 | 8億4,129万5千円 | 473万3千円 |
| | 介護保険事業特別会計 | 59億4,060万円 | 58億9,929万6千円 | 57億5,722万円 | 1億4,207万6千円 |
| | 計 | 121億2,843万3千円 | 113億9,409万3千円 | 112億2,358万2千円 | 1億7,051万1千円 |

※歳入総額、歳出総額、差引額については、千円未満は四捨五入しているため、合計額が合わない場合があります。
※一般会計の差引額のうち、２億5,076万円は翌年度への繰越財源となり、実質収支額は、８億3,849万円となります。

### ▼基金一覧表（令和７年度末現在高）

| 区分 | 前年度末残高 | 決算年度末残高 | 区分 | 前年度末残高 | 決算年度末残高 |
|---|---|---|---|---|---|
| 財政調整基金 | 26億6,239万4千円 | 26億3,829万3千円 | 学校施設整備基金 | 1千円 | 300万1千円 |
| 学校教育振興基金 | 2,500万7千円 | 2,108万9千円 | 森林環境基金 | 4,210万7千円 | 4,188万円 |
| 福祉振興基金 | 1,460万1千円 | 1,446万5千円 | 図書整備基金 | 1,260万円 | 281万円 |
| 児童福祉基金 | 2,834万1千円 | 2,610万7千円 | 道の駅整備基金 | 1億円 | 1億1,000万円 |
| 交通遺児等福祉基金 | 1,605万1千円 | 1,605万4千円 | 環境センター整備基金 | 3億円 | 4億5,000万円 |
| 漁業振興基金 | 1,012万8千円 | 1,013万9千円 | 国民健康保険基金 | 5億1,486万7千円 | 4億3,107万8千円 |
| 青少年国際交流基金 | 231万4千円 | 131万9千円 | 高額療養費貸付基金 | 851万9千円 | 786万5千円 |
| 社会教育施設管理運営基金 | 2,903万8千円 | 2,509万9千円 | 高額療養費貸付基金（貸付金） | 0円 | 65万4千円 |
| 中山間地域農村活性化基金 | 48万3千円 | 48万4千円 | 介護保険給付費準備基金 | 2億6,186万7千円 | 3億8,752万8千円 |
| 公共施設等マネジメント基金 | 11億6,589万6千円 | 10億7,102万6千円 | 合計 | 51億9,421万4千円 | 52億5,889万1千円 |

**●民生費、衛生費**

・福祉施設等物価高騰支援給付事業給付額の基準
・低所得世帯へのプレミアム商品券の配布冊数および利用数
・意思疎通支援事業の通院等の個別利用件数
・私立保育園等運営事業の保留児童数増加傾向の要因
・保育士配置改善事業補助金による保育士の負担軽減の効果
・成人歯科健康診査の受診率向上に向けた課題
・大腸がん検診受診者の国民健康保険加入者の割合

**●農林水産事業費、商工費、土木費および災害復旧費**

・地域おこし協力隊活動費補助金の内容
・産地生産基盤パワーアップ事業の対象品目および地域
・農作物被害対策事業の報酬等の支払時期
・プレミアム付商品券事業の誤発送防止対策
・中小企業資金融資対策事業の利子補給率引き上げの効果
・公園施設予約満足度低下の要因
・地籍調査事業の進捗率および完了に向けての見通し
・市道湊富士見台線整備事業の進捗および事業費の執行状況
・市営住宅解体工事の解体戸数



産地生産基盤パワーアップ事業で雨よけ資材を導入したブドウ園地

**●消防費、教育費、公債費および予備費**

・消火栓新設改良事業の消火栓新設箇所
・消防自動車等の今後の更新予定
・女性用トイレおよび更衣室を備えた市内消防団詰所の数
・孤立集落災害対策事業で配備した発電機の点検頻度等の把握
・給食材料費の富津市産食材の利用割合増加の要因
・青堀小学校校舎改築事業の進捗状況と見通し
・外国人英語指導助手を活用した1クラス当たりの受講時間
・英語教育推進事業における指導員配置結果の検証指標
・市立図書館の年代別の登録者数および割合
・古墳の里ふれあい館の今後の整備




古墳の里ふれあい館（青堀駅東口史跡情報案内所）

**●総括的質疑**

・財政運営における優先順位の判断方法および評価方法
・基金の主な運用方法および運用収益の状況
・市債の借り入れに対する利子の見通し

等の質疑があり、賛成討論の後、**全員の賛成**で認定されました。

**◆国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算**

・特定健康診査受診率向上の要因
・特定健康診査の年代別受診率
・高額療養費給付事業における一人当たりの医療費が高額な疾病名
・滞納世帯数および差し押さえ件数

等の質疑があり、賛成討論の後、**全員の賛成**で認定されました。

**◆後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算**

・高齢者の健康維持および重症化予防の取組内容
・滞納者数および差し押さえ件数

等の質疑があり、賛成討論の後、**全員の賛成**で認定されました。

**◆介護保険事業特別会計 歳入歳出決算**

・要支援、要介護の認定者数増加の要因
・介護予防生活支援サービス事業の利用人数
・「みんなのあんしん介護保険わかりやすい利用の手引き」の周知方法および全戸配布の検討
・普通徴収分の滞納者数および滞納による給付制限を受けた人数
・在宅・介護連携推進事業の内容および報酬内訳

等の質疑があり、賛成討論の後、**全員の賛成**で認定されました。

## 行政手続きについて

政友会



諸岡　賛陛
議員

**問**　市民が行政手続きを行う際の負担軽減策として、書類の提出や窓口対応の簡素化、迅速化を進めるために、現在どのような改善策を検討、または実施しているのか伺う。

**市長**　市民の皆様の行政手続きに係る負担を軽減し、利便性の向上を図るため、本市ではデジタル技術を活用した取り組みを進めている。マイナンバーカードを活用し、コンビニで住民票の写しや所得証明書等の交付を行うコンビニ交付サービスを実施するとともに、行政手続きのオンライン化を推進し、マイナポータルから転出の届出や子育て・介護に関する手続き、戸籍や税に関する証明書の交付請求等が行えるほか、ＬｏＧｏフォームから健診や各種申請書、届出書の提出が行える等、時間や場所にとらわれず手続きを行うことができる環境の整備に取り組んでいる。今後は、これらの取り組みに加え、窓口業務改革にも取り組み、来庁される方の負担軽減や手続時間の短縮、職員の業務効率化を図ることで、より質の高い行政サービスを提供していく。

**問**　行政事務取扱局が今年度から市内４郵便局に増え、なじみのある職員さんが窓口で対応してくれるということで、非常に評判はいいと実感している。情報の提供について、今後どのようにしていくのか、伺う。

**市民部長**　市内コンビニエンスストアでのコンビニ交付サービス、市内４郵便局の行政事務取扱いの定着に向け、引き続き、市ホームページ、広報ふっつ、区長回覧、市の公式ＬＩＮＥや安全安心メールを活用するとともに、市内の公共施設やコンビニエンスストアへのポスター掲示、チラシ配架を実施し、根気よく市民の皆様に周知していく。




富津市行政事務取扱局

## 地域経済循環の構築

政友会



平野　英男
議員

**問**　本市は活動の拠点性が低い地域で、労働力が流出優先の構造となっている。そこで、市外から通勤している従業者に対し、住宅補助等のインセンティブを設けては。

**企政部長**　本市では結婚新生活支援事業による住居費等の支援や、今年度から移住子育て世帯マイホーム取得補助事業を開始した。今後も効果的な移住・定住促進策について研究をする。

**問**　大企業が地元の発注先を探しやすくするために、地元企業リストを整備し、大企業が求める要件に応えられる制度を創設しては。

**建経部長**　地元事業者への発注が増えることは、受注事業者の生産や売上げ増加だけでなく、関連事業者への発注や地域内での消費拡大等を通じて、資金循環と経済波及効果が期待されることから、各種団体と連携しながら研究をする。

**問**　本市は京葉工業地帯の最南端で、自然豊かな海岸線が広がっている。そこで、産業観光を高度化するために、市内の宿泊・飲食業と連携した滞在型観光を推進し、投資を呼び込むべきと考える。

**建経部長**　こうした取組を実現するには、企業が有する産業資源や人材と地域事業者をつなぎ、それぞれの強みを組み合わせていくことが重要と認識する。新たな観光コンテンツの創出や、市内企業や事業者との連携の可能性を検討する。

**問**　本市の水産業や農業は、地域外から所得を稼ぐ力を持っている。そこで、大企業の本社の社員食堂や取引先への贈答品として、富津産の魚介やノリ、農産物を定期的に提供してもらってはどうか。

**建経部長**　本市の農業は水稲やブロッコリー、メロン、トマト等が生産され、水産業はノリ、タチウオ、カキ、白ミルが千葉ブランドに認定されている。市としては、地域経済の活性化を促す企業と生産者との連携の可能性を検討する。

| 労働生産性 | | 地域住民所得 | |
|---|---|---|---|
| 平均生産性 | 825.0万円/人 | 一人当たり所得 | 401.9万円/人 |
| 全国平均 | 984.2万円/人 | 全国平均 | 448.5万円/人 |
| 722位/1,741市区町村 | | 1,465位/1,741市区町村 | |

環境省が提供する地域経済循環分析ツールから抽出された、2022年の富津市の労働生産性と地域住民所得

＊紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建経部長（建設経済部長）
健福部長（健康福祉部長）

## 災害に強い富津市を目指す

賢政会



平野　寛明
議員

**問**　耐震性を有していない住宅の戸数を伺う。

**建経部長**　令和5年住宅・土地統計調査を基に、1万6504戸のうち1948戸、全体の11・8％と推計している。

**問**　耐震診断・改修事業の実績と制度拡充の内容を伺う。

**建経部長**　直近5年間で診断16件、改修2件。工事費や年齢が改修を断念する要因となっているため、令和8年度から補助率を5分の4とし、上限額を80万円、65歳以上は100万円に拡充した。

**問**　耐震シェルターや防災ベッドへの補助について伺う。

**建経部長**　現行の市の制度では補助対象外。国や県の動向を注視し、有効性を引き続き研究する。

**問**　本庁舎と消防防災センターがともに使用不能となった場合の代替施設を伺う。

**総務部長**　現在は特定していない。災害対策本部機能を維持するため、建物の位置や状態、通信手段、電源確保等を総合的に勘案し、新たな代替施設を検討する。

**問**　被災地へ派遣した職員の経験をどう生かしているか伺う。

**総務部長**　避難所開設・運営訓練の内容に反映し、簡易トイレの備蓄数も増やしている。受援計画全体を点検し、必要に応じ見直す。

**問**　市道橋梁の健全度と修繕の優先順位を伺う。

**建経部長**　193橋のうち判定Ⅲ早期措置段階は31橋、判定Ⅳ緊急措置段階はない。劣化や利用状況、バス路線、津波浸水予想区域からの避難路等を総合的に考慮する。

**問**　災害に強い富津市の実現に向けた市長の決意を伺う。

**市長**　過去や各地の災害から得た教訓を生かし、関係機関、事業者、市民と一体で備えを進める。自助・共助・公助が補い合う防災・減災を充実し、安全で安心して暮らせるまちの実現に取り組む。



旧耐震住宅の安全性を高める筋交い補強（イメージ）

## みらいの富津市のために

賢政会



宮崎　晴幸
議員

**問**　災害時における市施設の課題と今後の取り組み、公立保育所の保育士の人材確保について、市の考えは。

**市長**　市の指定避難所では、停電時における電源の確保、暑さ・寒さ対策、衛生的なトイレ環境の確保等さまざまな課題があり、施設の改修・設備の整備に加え、指定避難所以外の施設も活用する等、柔軟な考え方をもって臨機応変に対応することが必要である。保育士の人材確保については、安定的な保育所運営を行っていく上で、正規職員の保育士確保が重要であると考え、保育士養成校での公立保育所のPR活動、令和7年度に創設した保育士養成修学資金貸付制度の周知を行っている。保育ICTシステムの導入等により、働きやすい環境整備に取り組んでいる。

**問**　避難所にもなる学校体育館への空調設備の整備を、早期に進めていく必要があると考えるが。

**教育部長**　教育環境と避難所環境改善の観点からも、整備の必要性は高まっている。施設ごとの規模や構造、断熱性能、整備費や維持管理費等を把握し、優先順位を含めた整備方針の作成を検討していく。

**問**　保育士養成修学資金貸付制度の利用状況は。

**健福部長**　令和7年度は2名が利用し、うち1名は、卒業後市内の私立保育施設に正規職員として就職した。

**問**　公立保育所における保育ICTシステム導入の効果は。

**健福部長**　欠席連絡や連絡帳、保護者へのお便り等の電子化により業務負担が軽減され、その分、子どもへの保育に注力できるようになった。今後も引き続き、現場を担う保育所職員の意見等を踏まえ、さらなる業務の効率化を図っていく。



保育ICTシステムを使用し登所する様子

## 富津市の教育環境について（不登校支援等／学力向上等のための具体的対策等）

**（富井碧議員）**

**問**　不登校児童生徒が大きく増加している。支援についての課題は。

**教育長**　不登校が長期化しているケースの中に学校外の支援機関とつながっていない児童生徒が一定数いる。学びの機会や社会とのつながりを保障しにくいことが課題。

**問**　不登校児童生徒の学習状況の把握や、成績評価の仕組みは。

**教育長**　家庭訪問や面談等により学習状況を把握。成績評価は、学習内容が適切で、学校・保護者・民間施設等が十分連携し、学習状況を定期的に把握でき、対面指導を継続できている場合、学校で判断し、成績評価をしている。

**問**　学びの多様化学校については。

**教育長**　児童生徒が安心して学べる環境の選択肢を広げる有効な手法と認識している。

**問**　児童育成支援拠点事業・希望塾を不登校支援の選択として生かすために、どう連携していくのか。

**健福部長**　児童生徒の状況や支援内容を教育委員会や学校と共有し、適切に連携することが重要である。

**問**　フリースクール等の利用料への支援については。

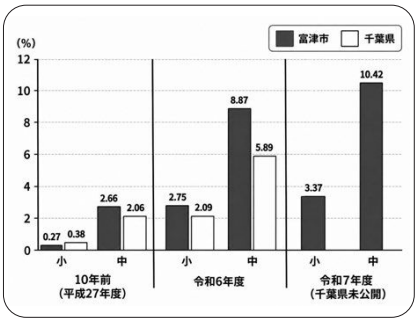
**教育長**　現段階で考えはない。

**問**　保護者サロン等の場を設け、保護者支援を充実させては。

**教育長**　保護者への支援も重要であると認識している。今後とも支援のあり方を調査・研究していく。

**問**　不登校支援を有効につなぎ合わせ、一人一人が自分に合った学びや人とのつながり、進路を選べる環境の整備については。

**教育長**　不登校支援の全体像が分かるパンフレットの作成を進めている。一人一人に合った支援の仕組みをさらに充実できるよう努める。




不登校率の推移

**（猪瀬浩議員）**

**問**　全国学力テストが行われていると思うが、市の順位は。

**教育長**　全国および県の平均正答率と比較すると、富津市の小中学校とも下回っている。

**問**　全国や県の平均点に近づけるために取り組んでいることは。

**教育長**　授業を通し、「わかった・できた・認められた」と、児童生徒が感じられるような授業改善を推進している。学級を習熟度別に少人数に分けたり、1つの学級に複数人の指導者を配置する等の指導体制の工夫をしている。

**問**　南房総市では、年間5～6万円程、学習塾等の塾代支援事業を行っている。富津市でもどうか。

**教育部長**　学校の授業を充実させることを第一に考えている。学習支援サービスについては、今後情報収集に努めていく。

**問**　授業で使用しているAI学習アプリ（習熟度に合わせた問題を自動生成したり、解き方のヒント等を示してくれるアプリ）は自宅学習でも使えると思うが、タブレットを持ち帰らせない理由は。

**教育部長**　本市では、タブレットを用いた家庭学習を推奨している。

**問**　AI学習アプリの中には模擬試験問題にチャレンジできるオプションメニューもある。子どもたちが学力を把握するためにも、模擬試験代の補助制度等を設けてみてはどうか。

**教育部長**　高校等への進学に向けて、自分の学力を客観的に把握することは大事なことであると認識している。今後、先進自治体の情報収集に努めていく。

**【関連質問】**　**（千倉淳子議員）**

**問**　小規模特認校導入の可能性は。

**教育長**　近隣市の運用状況や課題等、情報収集に努める。

**問**　次期地域公共交通計画に、子どもの通学・塾通いの移動支援を位置づけるべきと考えるが。

**市長**　学生の移動については、地域の交通事情や利用実態等を踏まえ、次期地域公共交通計画を策定する中で検討する。

ソフト詳細はこちら




市内小中学校の授業でも使われている様々な学習機能が備わっているAI学習アプリ「eライブラリ」
（ラインズ株式会社HP等より抜粋）

**市民の声**



富井　碧　議員



猪瀬　浩　議員

＊個人質問の時間は、質疑・答弁を含め60分以内です。紙面の都合でわずかしか掲載できませんので、市役所１階の「行政資料コーナーの会議録」や「議会ホームページ」で詳細をご覧ください。
＊紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建経部長（建設経済部長）　企政部長（企画政策部長）
健福部長（健康福祉部長）

# ◆個人質問

## 地域資源を生かした持続可能なまちづくりについて



三富　敏史
議員

**問**　史跡内裏塚古墳群保存活用計画の策定状況、人口減少時代の地域コミュニティへの支援、遊休農地・耕作放棄地対策について伺う。

**市長**　内裏塚古墳群は5世紀から7世紀にかけて造られた関東屈指の古墳群であり、令和7年9月に国指定史跡となった。市の魅力づくりや交流・地域学習の拠点として地域振興と教育への活用を検討し、令和9年度末までに各古墳の適切な管理・方針等の策定に取り組んでいる。地域コミュニティへの支援は、各自治会に富津市自治振興交付金を交付し、安心して地域活動等に従事するための市民活動災害補償制度や市民活動物品貸出制度等を実施している。遊休農地・耕作放棄地対策は、意欲ある担い手への貸し付け等による有効活用を進め、大切な資源である農地を次世代に引き継いでいけるよう支援していく。

**問**　若い世代の地域活動参加への環境づくりについては。

**市民部長**　多様化する生活スタイルを踏まえ、地域行事の開催にデジタル技術の活用や、地域住民だけでなく関係人口を含めた活性化を図ることが必要である。

**問**　地域活動の拠点となる地区集会施設の今後の維持・活用は。

**市民部長**　地区集会施設は、地域のコミュニティ活動や防災拠点として重要な施設であるが、維持・活用は引き続き所有する各自治会等で対応いただきたい。

**問**　新規就農者への支援は。

**建経部長**　経営開始資金として、年額１６５万円を最長3年間交付し、交付終了後5年間は関係機関とフォローアップを行っている。

**問**　企業の農業参入による遊休農地の活用は。

**建経部長**　農業法人へ情報提供を行い、農地が有効に活用された事例がある。引き続き、関係機関と情報共有を図っていく。




小糸川流域に造られた内裏塚古墳群

## 富津市のファンづくり／公式ＬＩＮＥについて



渡辺　純一
議員

**問**　富津市における関係人口の創出・拡大につながる活動は。

**企政部長**　地域活動やボランティアへの参加、二地域居住、ワーケーション、農林水産業や地域住民との交流体験事業、ふるさと納税からの関係づくり等がある。

**問**　全国では、関係人口創出の一つとして、子育て世帯を対象とした保育園留学事業があるが。

**健福部長**　子どもは自然の中で伸び伸びと遊べる体験、保護者はリモートワークで違う環境に身を置くことでリフレッシュができる。関係人口の創出という観点からは、一定の効果が見込める。

**問**　市が有する自然環境保育は、市の地域資源であると考えるが。

**企政部長**　子育て環境の魅力の一つとして紹介し、移住相談会等、市外の子育て世帯に周知する。

**問**　海岸沿いの1棟貸し宿泊施設等が多数存在。確実に需要があるものと見方もできる。保育園留学等の滞在型事業は、本市で実施できる可能性があると考えるが。

**企政部長**　先進自治体の事例や民間の取組等について、関係課で情報を共有し、施策の参考とする。

**問**　次に、公式ＬＩＮＥアカウントの利用状況や要望等は。

**総務部長**　7月末で１万６１９人が利用。4月～7月で３０９件の情報発信を実施。問い合わせ対応を可能にしてほしい等要望がある。

**問**　市民と行政をつなぐ窓口機能としても活用していく考えは。

**総務部長**　ＤＸ化の推進の一環として、市民と行政をつなぐ窓口機能としての活用も検討する。

**問**　ＬＩＮＥには、各種申請や相談窓口、通報や予約など、パフォーマンス向上に期待できる機能がある。活用に当たっての課題は。

**総務部長**　ＳＮＳとの連携機能や、利用者の閲覧環境の向上等、ＨＰ自体の充実・強化を図る必要があり、リニューアルを検討している。



竹岡保育所の磯遊び風景

＊紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
健福部長（健康福祉部長）

# ◆個人質問

## 健幸に暮らせるまちについて／歯科保健事業推進の取り組み



白井　義夫
議員

**問**　市民一人一人が健幸に暮らしていくためには、食後の歯磨きや口腔衛生の重要性を理解することが大切で、実際の行動に移すには市からの継続的で分かりやすい情報発信と働きかけが必要である。市民自らの日常的な口腔ケアの実践を促していくために、どのような歯科保健事業推進の取り組みをしているのかを伺う。

**市長**　歯科保健事業推進のため、ホームページや安全・安心メール、公式ＬＩＮＥ等により歯科保健を周知し、妊婦歯科健診、成人歯科健診、口腔がん検診等の歯科健診事業を実施している。また、歯科衛生士による乳幼児健診、保育所・小中学校での歯科保健教室、いきいき百歳体操の場での歯科指導をライフステージに応じて継続的に実施し、令和６年度からは児童の虫歯予防と口腔衛生の向上を目的として、小学校におけるフッ化物洗口を順次開始している。今後も口腔の健康を保持・増進できるよう歯科保健事業の啓発を行い、市民の皆様が自ら口腔ケアを実践できるよう努めていく。

**問**　口腔の健康は、全身の健康維持や介護予防、さらには健康寿命を伸ばすことにつながる。これを健康課題への位置付けとして、市はどのように考えているのか。

**健福部長**　口腔の健康を維持することは、歯の喪失を防ぎ、しっかりと噛むことでバランス良く栄養が取れ、食べる楽しみにつながる。さらに、そしゃくによる脳の活性化や話すといった機能も維持され、高齢になっても生活の質が保たれるとされている。「健康ふっつ21（第三次）」においても、歯と口腔の健康を目標に掲げ、成人歯科健診の受診率の向上、歯周病予防、虫歯予防に取り組んでいる。



歯科医院での歯科検診

## 受援計画の策定状況と実効性について



関　努
議員

**問**　近年激甚化した災害が頻発、被災地では自身も被災した自治体職員が多くの業務に追われる。石川県のある市では能登半島地震発災後２年余りで市職員の約２割が退職した。こうしたことを防ぐため事前防災の充実が大切になる。本市では受援計画を策定しているが、主な対象業務と体制、職員の計画に対する認識の徹底、今後の内容点検や見直し等について伺う。

**市長**　受援計画では担当者の選定、応援職員等の受け入れ環境の確保と受け入れの基本的な流れを定めている。対象業務は避難所運営をはじめ、被災家屋の認定調査や罹災証明書の発行、廃棄物の処理等、多岐にわたる応援要請・受け入れを想定している。体制は対象業務を所管している全庁の各班が業務内容と必要人員を整理し、総務課が取りまとめ、県や他自治体に要請を行う。計画は職員に周知済みだが、さらなる認識の徹底を図る。まずは計画の点検を行い、必要に応じて見直しを行っていく。

**問**　熊本地震自治体間支援として、循環型シャワー９台を被災地に送った。ＷＯＴＡ株式会社との協定内容と能登半島地震での同支援の効果を、職員の派遣も含めて伺う。

**市長**　ＷＯＴＡ株式会社とは協定等は締結していないが、令和８年熊本地震で甚大な被害を受けた被災地支援としてＷＯＴＡ株式会社からの要請に応じ、市所有の「自律分散型水循環システム及び屋外シャワーキット」９台を現地の入浴支援のため送った。令和６年能登半島地震の際も同様に無償で貸し出しを行った。また、千葉県からの要請で石川県珠洲市に５名の職員を派遣し、被災地の避難所運営に当たった。効果としては被災された方々の支援に貢献でき、また、応援に当たった職員の知識・経験が地域防災力の向上につながっていると考えている。




市所有の自律分散型水循環システム及び屋外シャワーキット

## 福祉の向上・大佐和分院・小中学校体育館



丸　優子
議員

**問**　生活保護費の引き下げ処分の取り消しを求めた裁判で、最高裁は、２０１３年から最大10％の生活保護費の大幅引き下げを違法とし、減額処分を取り消す判決を言い渡した。これにより引き下げられた保護費の差額分が追加支給されることとなったが、実際には差額分の２分の１ほどの支給となった。では、追加支給の対象と内容は。

**健福部長**　対象は約６６０世帯。平成25年８月から令和８年３月までの間に富津市で生活保護を受給していた人が対象。亡くなっている人は対象外。生活保護を受給中の人は手続きが不要だが、保護を廃止している人は申出書の提出が必要。本年10月頃の支給に向け準備を進めている。

**問**　視覚障がいのある人に対する支援策のうち「同行援護」とは。

**健福部長**　外出する際に、ヘルパーが同行し、移動に必要な情報の提供や移動の援護、排せつ、食事等の介護のほか、代読、代筆等の必要な援助を行うサービスである。

**問**　君津中央病院企業団の経営状況と大佐和分院の早期建て替えの実現に向けた現状は。

**市長**　君津中央病院企業団では、経営改善に取り組んでいるが、令和６年度では約６億円の純損失、令和７年度は10億円を超える赤字決算となる見込みから、経営は大変厳しい状況である。大佐和分院の早期建て替えは、財政・人材確保の状況を踏まえると、計画通り実施することは困難な状況である。

**問**　空調設備整備臨時特例交付金を活用し、災害時に避難所となる、全ての小中学校体育館に空調設備を設置するべきだが、いかがか。

**教育部長**　設置には空調設備だけではなく、現状に応じた改修や設計なども必要であり、相当の費用を要することから、優先順位や財政措置等の国の動向を考慮し、引き続き検討していく。




老朽化した大佐和分院

## 獣害対策および公民館等の課題と今後について



荒井　輝久
議員

**問**　今後の獣害対策への考えは。

**市長**　獣害対策を継続的に進めるためには、捕獲従事者の確保、専門的な知見やＩＣＴの活用、地域との連携が重要であり、地域の実情に応じた、より効果的な獣害対策に取り組んでいく。

**問**　農産物等被害の現状と傾向に変化はあるか。

**建経部長**　天羽地区の中山間地域に加え、近年はその周辺や大佐和地区においてもイノシシ、シカ等の被害が報告され、被害地域に広がりがある。

**問**　害獣捕獲頭数の令和５年度～７年度の推移は、イノシシは３２９３頭、２２２４頭、２７２５頭、シカは２０７４頭、２２８３頭、２４３２頭であるが、捕獲状況の特徴等をどう分析しているか。

**建経部長**　地域的にシカは市南部を中心に、イノシシはより広範囲で捕獲されているが、捕獲数のみで生息数や生息域の判断は難しい。

**問**　捕獲従事者数と平均年齢、新規従事者の推移について伺う。

**建経部長**　捕獲従事者は、全体で１４５人、平均年齢は64歳、新規従事者は、令和５年度～７年度で９人、13人、10人である。

**問**　捕獲方法の変化はあるのか。

**建経部長**　従来の方法に加え、移動式囲いわなやＩＣＴ技術等も活用し、効率化や従事者の負担軽減に取り組んでいる。

**問**　将来の公民館の在り方、今後の整備方針等について伺う。

**教育長**　公民館等の施設は、３地区に各１館の配置を継続することを基本的な考え方としている。富津公民館は長寿命化改修の上、存続させ、中央公民館、市民会館はホール機能を富津公民館へ集約し、規模を縮小の上、建物を更新する。

**問**　施設運営の課題について。

**教育部長**　老朽化の進行が課題。各種保守点検等により状況を的確に把握し施設の管理運営に努める。



獣害対策は喫緊の課題

# 9月定例会

## ◆条例等

### ▼富津市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定

地方自治法施行規則の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、関連する規定を整備するため、条例の一部を改正するものです。

### ▼富津市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定

経済社会情勢の変化を踏まえた企業の事業活動の持続的な発展を図るための産業競争力強化法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、関連する規定を整備するため、条例の一部を改正するものです。

**令和8年9月定例会は、8月27日から9月24日までの29日間で開催されました。議案12件、報告5件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。なお、議案の採決の結果は、11ページをご覧ください。**

## ◆補正予算

### ▼一般会計補正予算第4号（補正額　4億4453万円）

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業、台風により被災した農地、道路、橋梁および河川の災害復旧事業、総務管理運営関係費などに係る経費および予備費ならびにこれらに関連する歳入、人事異動などに伴う人件費などを補正するものです。

**・農業者物価高騰支援給付事業（521万円）**

物価高騰の影響を大きく受ける認定農業者および認定新規就農者を支援するため、令和7年中の経費のうち、肥料費、飼料費および燃料費などの合計額の10％分について、10万円を限度として給付金を支給します。



**・漁業者等物価高騰支援給付事業（1269万円）**

物価高騰の影響を大きく受ける漁業者などを支援するため、漁船などの規模に応じ、1隻につき1万～8万円の給付金を支給します。



**・地域おこし協力隊関係費（283万円）**

市内観光業のさらなる発展に向けた取り組みを実施するため、地域おこし協力隊の設置および隊員の募集を行います。

**・農地災害復旧事業（200万円）**

令和8年台風第6号の大雨の影響により6月3日に被災した、農地の災害復旧工事を実施します。

**・公共土木施設災害復旧事業（3億6850万円）**

令和8年台風第7号および第8号の大雨の影響により6月27日に被災した、市道、橋梁、河川の災害復旧工事を実施します。



破損した橋梁（田倉地先）

### ▼国民健康保険事業特別会計（補正額　1068万円）

### ▼後期高齢者医療特別会計（補正額　△216万円）

### ▼介護保険事業特別会計（補正額　1億3435万円）

各特別会計について、繰越金や人事異動などに伴う人件費を補正するものです。

# 令和8年9月定例会の議決結果

**※議案12件、報告５件の議決結果は次のとおりでした。**

| 議　案　等 | 議決結果 | 富井　碧 | 平野　寛明 | 白井　義夫 | 丸　優子 | 荒井　輝久 | 宮崎　晴幸 | 渡辺　純一 | 三富　敏史 | 関　努 | 猪瀬　浩 | 諸岡　賛陛 | 千倉　淳子 | 平野　英男 | 石井　志郎 | 平野　明彦 | 山田重雄（議長） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 令和８年度一般会計補正予算（第２号）の専決処分の承認を求めること | 原案承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和８年度一般会計補正予算（第３号）の専決処分の承認を求めること | 原案承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 中小企業資金融資条例の一部を改正する条例の制定 | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和８年度一般会計補正予算（第４号） | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和８年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和８年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和８年度介護保険事業特別会計補正予算（第１号） | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和７年度一般会計歳入歳出決算の認定 | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和７年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和７年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定 | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和７年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定 | 原案認定 | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | － |
| 令和７年度決算に基づく健全化判断比率の報告 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 令和７年度一般会計継続費精算報告書 | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |
| 専決処分の報告（３件） | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － | － |

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。
議案名中の『富津市』及び『～について』は省略表示しています。

○＝原案賛成　●＝原案反対

Topics
話題

## 市民と議会との意見交換会2026



７月29日に新富工場協議会と「産業を元気にするまち」をテーマに、意見交換会を実施しました。

## 甲州市議会との交流



７月25日に友好都市山梨県甲州市の議員５名が富津市を訪れ、第２期君津地域広域廃棄物処理施設を視察し、情報交換会を開催するなど交流を深めました。

## 館山市議会との交流



８月７日に館山市の議員16名が富津市を訪れ、富津市立図書館を視察し、情報交換会を開催するなど交流を深めました。

## 拓殖大学紅陵高等学校の訪問



７月29日に第108回全国高等学校野球選手権大会千葉県代表として、拓殖大学紅陵高等学校野球部の学生が表敬のために訪れました。

### 編集後記

日本列島では近年、記録的な豪雨が頻発し、災害による被害も深刻化している。豪雨災害は行政の力だけで被害を防ぎ切ることが難しく、発災直後はまず自ら命を守る「自助」が不可欠。また、避難時の声掛けや要支援者への配慮など、地域で支え合う「共助」が被害軽減につながる。そして、それらを支える防災基盤の整備や迅速な情報発信を担うのが「公助」である。自助・共助・公助がそれぞれの役割を果たしてこそ、地域の防災力は高まる。安全・安心な富津市の実現に向け、備えを着実に進めていきたい。（ナベ）

## 12月 定例会日程

※本会議の中継をご覧ください。

市議会ホームページ

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 11/22 | 23 | 24 | 25<br>10時<br>開会<br>議案の上程 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | 12/1<br>10時<br>一般質問 | 2<br>10時<br>一般質問 | 3<br>10時<br>一般質問 | 4 | 5 |
| 6 | 7 | 8<br>常任委員会 | 9<br>常任委員会 | 10 | 11 | 12 |
| 13 | 14 | 15<br>10時<br>委員長報告<br>議案審議<br>閉会 | 16 | 17 | 18 | 19 |